

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会：土屋課長	<p>皆様こんばんは。本日はお忙しい中、また外が寒い中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の司会を務めさせていただきます、福祉部高齢者福祉課長の土屋でございます。どうぞよろしく願いいたします。まず会議に入ります前に、このたび訪問看護ステーションコスモスの篠崎朝子様につきましては、令和4年12月31日をもちまして委員を辞退されました。つきましては、令和5年1月1日より同じ訪問看護ステーションコスモスの愛上美恵子様が後任として委員をお引き受けくださることになりました。つきましては、福祉部長の戸ヶ崎部長より愛上様に委嘱書の交付をお願いいたします。ただいま福祉部長がお席までお伺いしますので、恐れ入りますが愛上様、その場でご起立をいただければと存じます。</p> <p>《委嘱書の交付》</p>
司会：土屋課長	<p>では一言、愛上様にこの場でご挨拶をいただければと思います。よろしく願いします。</p>
愛上委員	<p>訪問看護ステーションの愛上美恵子と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p>
司会：土屋課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本会議の運営につきましてご案内を申し上げます。会議録の作成についてでございます。会議録につきましては、「てにをは」や「繰り返しの発言」等を整理させていただいた上で全文記録方式で作成し、公開をさせていただきます。そのため、会議を録音させていただきますのでご了承いただきたいと存じます。これに伴いまして、ご発言の際はまず所属とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。なお会議録につきましては、事務局で作成いたしまして委員の皆様にご確認をいただいた後、議長と議事録署名人として二名の委員の方にご署名をいただきまして、市ホームページ等で公開をさせていただきます。運営に関しましては以上でございます。何かご質問があればお受けいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、ただいまから、令和4年度第2回久喜市在宅医療・介護連携推進会議を開催させていただきます。本日は委員19人中18人のご出席をいただいております。会議の開催にあたりまして、関谷座長よりごあいさつをいただきたいと存じます。関谷座長よろしく願いいたします。</p>
関谷座長	<p>着座にて失礼いたします。寒いところ、またお疲れのところお集まりくださりましてありがとうございます。在宅における医療と介護</p>

	<p>の問題、及びその連携をすることの重要性をこの会で作成して参りました。新しいことへの取り組みに対するチャレンジとすでにある制度をブラッシュアップして、より良いものを作っていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。</p>
<p>司会：土屋課長</p>	<p>ありがとうございました。それではこれより、久喜市在宅医療・介護連携推進会議設置要領第五条第2項の規定によりまして、関谷座長に議長をお願いいたしまして、議事を進めていただきたいと思います。関谷座長よろしくをお願いいたします。</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>はい。ご指名でございますので、議事進行を務めさせていただきます。円滑に協議が進行いたしますよう、皆様にご協力をお願いいたします。それでは最初に本日の議事録署名人を確認させていただきます。参考資料1-2で配布しました委員名簿の順で、4番目の石井成伸委員と6番目の澁谷由之委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>石井委員 澁谷委員</p>	<p>(承認あり) (承認あり)</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>よろしいですか。よろしくをお願いいたします。なお、すべての協議事項が終わりましたら、委員の皆様から課題や提案について一言ずつご意見をお伺いしたいと思いますので、協議中発言内容を考えておいていただきたいと思います。</p> <p>それでは本日の協議事項に移りたいと思います。まず、協議事項の(1)「第1回在宅医療・介護関係者研修会について」でございます。事務局から研修会の報告をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>はい。令和4年11月9日に開催いたしました令和4年度第1回在宅医療・介護関係者研修会についてご報告いたします。今回の研修会につきましても、委員の皆様には多大なるご協力をいただきありがとうございました。</p> <p>それでは、資料1をご覧ください。研修会参加者につきましては、医師5人、歯科医師7人、薬剤師10人、訪問看護師等3人、病院医療相談員2人、介護支援専門員12人、訪問介護員6人、在宅医療サポートセンター看護師1人、地域包括支援センター職員10人の計56人で行いました。在宅生活における医療と介護の関係者の連携をテーマに講演とグループワークを行いました。第1部につきましては、幸手保健所保健予防推進担当部長の渡邊千鶴子先生に「新型コロナウイルス感染症が起こした在宅医療と介護の危機！～今後のために。在宅医療・介護においてできることを考える～」という題で事例を交えてご講演をいただきました。また、第2部のグループワークにつきましては、新井病院院長で、本会議座長の関谷栄先生に総合司会をお願いし、第1部のテーマから「コロナ禍で支援する中で困ったこと、その対応。必要と感じた支援や制度を出し合ってみよう！」と題し、医療・服薬・介護・生活の四つの場面に分けて、困った点・問題点とその対応・解決策についてグループワークを行いました。多職種が活発にそれぞれの視点で意見を出し合い、情報の共有等が行われました。続いて資料2及び資料2-1、2-</p>

<p>議長（関谷座長）</p>	<p>2、2-3、2-4をご覧ください。グループワークで発表された結果をまとめたものでございます。多職種での話し合いを踏まえて、多くのご意見をいただきました。続きまして、資料3をご覧ください。研修参加者56人のうち48人から回答いただいたアンケートの結果でございます。今回の研修では、テーマについて、良いと答えてくださった方がほとんどでした。また、3ページと4ページには講演やグループワークで得られたことや感じたことについて職種ごとの意見をまとめております。今回の研修を通して、医療職と介護職でも問題点は一致している部分が多く、自分の職種だけで考えるのではなくそれぞれの業種に相談することも解決できる可能性が広がるということを実感しました、という意見が聞かれました。また、コロナに対して誰でも対応できるマニュアルを作成して欲しいという意見もありました。今後、医療と介護の多職種による利用者支援の実際の場面で円滑な連携に活かしていただける内容であったと思われます。続きまして5ページをご覧ください。今後研修会で取り上げて欲しいテーマについてのご意見を記載しております。単身高齢者、家族からネグレクトとなった高齢者の医療、介護の問題や、介護ハラスメント、虐待の具体的事例等が知りたい。身寄りのない高齢者の方への対応等について希望するご意見がありました。今後の研修のテーマを検討する上で、これらのご意見を参考にさせていただきます。今回のグループワークでは、未知なるウイルスへの対応について異なる職種や業種の考え方や対応等が理解できただけではなく、利用者支援の際に関係者が同じ方向性で支援していけると感じたという感想もいただくことができました。研修会におけるグループワークを継続することで、他の職種の方との顔の見える関係づくりだけではなく実際の円滑な連携の促進にも繋がるものと考えております。今後におきましても、さらに多職種の共通理解と連携促進のため引き続き在宅医療・介護関係者研修会を実施して参ります。報告は以上です。</p> <p>はい。ただいま第1回研修会についての報告がありました。第1部の渡邊千鶴子先生による講演は「幸手保健所管内の感染者の状況を説明していただき参考になりました。対応困難事例への共通する課題を知れたことはよかった」などの感想がありました。第2部のグループワークでは「多方面にわたり問題点が生じていたことがわかりました。困ったことはどの業種も同じで、多職種との連携の必要性を実感しました」という立場や職種を超えた気づきや「顔の見える関係が大切」と多職種の連携に重要な気づきの意見が出されました。実際に、研修会当日はグループ内の話し合い、グループごとの発表ともに活発に行われ、久しぶりに研修会を開催できたことが成果として表れておりました。</p> <p>何かご質問があればお受けしたいと思います。これは事務局の方でよくまとめていただいたんで、本当に僕はこれが宝だと。こういう問題点をですね、みんなが持って、みんなで共有、共通の認識のもとに地域の医療と介護の連携ができると、本当にすばらしい資料だと思っております。何かご意見などございませんでしょうか。</p> <p>ではないようなので、また後でお話はお伺いいたします。</p> <p>協議事項の(1)の「第1回在宅医療・介護関係者研修会について（報告）」はよろしいでしょうか。</p>
-----------------	---

<p>事務局：加納補佐</p>	<p>では次に、協議事項（２）「令和４年度の活動状況と令和５年度予定について」です。事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>はい。（２）令和４年度の活動報告と令和５年度の予定についてご説明いたします。資料４をご覧ください。右側に（ア）から（ク）の項目ごとに、令和４年度の実施した内容と令和５年度の予定について記載しております。</p> <p>（ア）の地域の医療・介護資源の把握につきましては、令和３年度より導入いたしました、社会資源把握システム、ケアプロNAVIの情報更新のため関係機関に基本情報確認シートを送付しご回答いただきました最新情報を、随時ケアプロNAVIに反映させ、市民の方に公表しております。病院・診療所につきましては、調査74件中、回答が52件でした。今回より公開の有無を確認させていただいておりますが、公開に同意しないところが7件ありました。回収率は70%になっております。歯科診療所につきましては、調査95件中、回答が57件でした。公開に同意しないところは1件あり、回収率は60%でした。薬局につきましては、調査63件中、回答が52件でした。同意しないところは2件あり、回収率は83%でした。回収率からもわかる通り、調査について、関係機関の協力を得ることが課題となっております。</p> <p>（イ）の在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討についてですが、令和４年７月27日に第１回目の会議を開催し、事業の取り組みと課題について協議をしました。また、在宅医療・介護関係者の研修会についても協議を行い、皆様のご協力を得たところです。令和５年度は推進会議を年３回、５月、11月、３月に予定しており、研修会は年２回、７月と１月を予定しております。皆様の活発なご意見とご協力をお願いいたします。次のページをご覧ください。</p> <p>（ウ）の切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進についてでございますが、南埼玉郡市医師会に一部業務を委託しております、入退院支援ルール策定に向けた協議体の立ち上げ及び委員の推薦につきまして、今年度より再開しております。第１回目の会議は10月19日に開催されました。第２回目を３月7日に予定しております。今年度中には、入退院支援ルールの策定を終える予定となっております。完成しましたら、内容について皆様に周知させていただき、関係機関にも広く周知して参りたいと考えております。また、訪問診療を受けるにはという簡単な冊子を作成し、在宅医療サポートセンターのホームページ及び市の窓口で配布予定です。その他、在宅医療・介護関係者向けの動画コンテンツを作成し、在宅医療サポートセンターのホームページで公開しているとの報告を受けております。</p> <p>次のページをご覧ください。（オ）の在宅医療・介護連携に関する相談支援についてでございますが、12月末現在の在宅医療サポートセンターで行われている相談件数は医師会在宅医療サポートセンター久喜担当が43件、奏診療所が蓮田、白岡、宮代担当で49件となっております。病院関係者や地域包括支援センター、介護支援事業所等からの相談が主となっております。</p> <p>（カ）の在宅医療・介護連携関係者の研修についてでございますが、令和４年度の研修会は、先ほども報告させていただいた通り11</p>
-----------------	---

	<p>月9日に開催いたしました。令和5年度は2回開催する予定です。皆様のご意見を含めまして、第1回目に入退院支援ルールについてとアドバンスケアプランニングACP会議とはというテーマで考えております。2回目は、身寄りのない高齢者の対応についてを考えております。詳細については、新年度になりましたら協議をしていただく予定です。この研修会は、地域の医療と介護の関係者が共通理解と情報共有に努め、多職種連携を推進するために実施するものでございます。研修会の参加により、知識の習得とともに顔の見える関係づくりを行うことで、今後の在宅医療と介護関係者との連携を円滑に図ることができるものと考えております。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>(キ)の地域住民への普及啓発につきましては、市のホームページにおいて掲載させていただいております。令和5年度も同様に周知に努めたいと考えております。</p> <p>(ク)の二次医療圏内・関係市町村の連携につきましては、久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町の3市1町で集まり、事業について連携して進めているところでございます。令和5年度も引き続き連携を図って参ります。</p> <p>(2)令和4年度の活動状況と令和5年度の予定につきましては以上でございます。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ただいま事務局から「令和4年度の活動状況と令和5年度の予定について」説明がありました。研修会の報告とグループワークの発表については、公表できるようにしていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、協議事項（3）「その他」について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>はい。協議事項（3）のその他でございます。</p> <p>次回、令和5年度第1回久喜市在宅医療・介護連携推進会議の開催についてでございます。1回目の会議は、先ほど協議していただいた資料4にある通り、5月中に開催したいと考えております。日程が決まりましたら委員の皆様には改めてご案内いたしますので、どうぞよろしくをお願いいたします。説明は以上でございます。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。次回の会議の日程は5月中ということですが、決まり次第、事務局から委員への通知をお願いいたします。以上をもちまして、本日の協議事項については終了いたします。</p> <p>それでは、委員の皆様から一言ご意見をいただきたいと思えます。では、医師会の方の新井委員、よろしくをお願いいたします。</p>
新井委員	<p>久喜医師会の新井でございます。すごく細かくまとめていただいて、ちょっとまだ消化しきれてないところがございますけれども、グループワーク久しぶりにさせていただいて、皆さんと会うことができすごく楽しかったなという思いが残っております。グループワークは慌ただしいのでちょっと疲労感の方が強い部分もあるんですけども、ああいったことも結局、もちろんすごくいいことなんですけど、一部の参加者に限られてしまうところがあるので、これをいかに広げて、久喜市全体に地域全体に広げていくかという</p>

	<p>ことが一番重要になってくる、今後は重要になってくるのかなというように思っております。一概にオンラインと言っても難しいんでしょうけども、もう少し幅広く皆さんが参加できる仕組みも考えていけたらいいかなというふうに感想を持ちました。以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。続きまして、熊懷委員、お願いいたします。</p>
熊懷委員	<p>久喜在宅クリニックの熊懷です。よろしく申し上げます。私も資料を拝見しまして、どの職種も通常の業務で、コロナ禍以外でも忙しい中でコロナ禍が発生して、いろいろ困り事を抱えたり、対応困難事例があったり、現在でも入院困難な事例があったり、感染者の数が増えていたりという中なので、こうしてまとめていただいて公開していただけることで、困りごとの共有ですとか、実際の対応した事案、が共有できるので非常にいいなと思いました。私もやはり参加できない忙しい方も多いと思うので、適宜感染の拡大状況等を見ながら、オンラインでの研修ですとか、資料の公開などもしていただけると良いかなと感じました。以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ありがとうございます。皆さんがここに集まらない人とも共有することの重要性、それからこの資料がですね、本当にそれに共有できる資料になっているかなと思います。 石井委員よろしく申し上げます。</p>
石井委員	<p>ふたば在宅クリニックの石井です。今回のコロナ禍の問題もそうなんですけれども、病院だと、看護師がいて薬剤師さんがいたり医師がいたりとか歯科医師がいたりとか、集まる機会が多かったり、コミュニケーションをとる機会が多いので円滑に進むことが多いと思うんですけど、なかなか在宅医療ってなると集まる機会がないんで、こういうグループワークだったりとか、年に数回集まるだけでもすごいいいなと毎回思っています。</p>
議長（関谷委員）	<p>ありがとうございます。やっぱりこう多職種が一つに集まるとまた話が変わってくると思います。続きまして、忍田委員よろしく申し上げます。</p>
忍田委員	<p>はい。忍田歯科医院の忍田です。私もグループワーク参加しましたが、いつも私たち歯科の中だけで、中の小さな世界でいろいろ意見の交換だとか情報とかを共有していましたが、今回のグループワークでいろんな職種の人たちの意見とか状況、あとコロナの状況とかわかりましたんで、とても有意義だったと思いますんで、この資料も、まだ全部見ていませんが、よくまとめられていると思います。</p>
議長（関谷委員）	<p>はい、ありがとうございます。やっぱり多職種が話し合うっていうのは非常に重要だという。続きまして、澁谷委員お願いします。</p>
澁谷委員	<p>本町歯科の澁谷です。みんなやっぱり困っていることはおんなじで、それをみんなで共有できたことは非常に有意義なのかなと思いました。あと、資料もすごいまとめられていて、自分はたぶん初期からこの委員でやっているんですけど、なんかどんどん積み上がって</p>

	<p>いっているっていうか、この会議やっている意味がすごくあるように思えてきました。だからやってよかったと思います、感想になってしまって申し訳ないです。</p>
<p>議長（関谷委員）</p>	<p>はい、ありがとうございます。やっぱり困難なことはみんなが困難で、じゃあどうやってやりくりするかっていうことを、こういう研修会で何かアイデアもらったというのはあると思います。続きまして、池上委員さん、よろしくお願いします。</p>
<p>池上委員</p>	<p>久喜白岡薬剤師の池上ですよろしくお願いします。ずっとこういった有意義な会議が進められていまして、いろんな意見が出て大変よろしいかと思えますけれど、やっぱりここに出てきたものが実際にですね、スムーズに円滑にできますように、今後もやっぱり反復練習じゃないですけども、やっぱりただここで会議でまとめて、貴重な意見が出てきてここに挙がっているだけでは全く意味をなさないもので、それらが非常に有機的にと言いますか、実際問題としてうまく活動できるような体制っていうのをやっぱり今後も作っていかなくてはいけないなと思っております。ですから、1回やっただけですとまた忘れて私なんかしちゃいますので、やっぱり何度も何度も同じ研修になっても私はいいかと思うんですけど、実際に本当に皆さんとの連携がしっかり行くように、会議の上でなくて、実際にうまくいくように今後とも活動をしていければと思っています。あともう一つ、地域住民への普及啓発というようなことで、ここはいつも思うんですけども、実際にこの訪問診療とか受けたような方々がどんなふうにしてよければいいのか、実際この問題でなくて、いろんなサービスがあるんですけども、そのサービスを受けようとしたときに、どんなふうを受けていいのかがまずわからないっていう方が非常に多いので、普及啓発っていうのは大変大事なことだと思いますので、何とかここをうまくできるように今後はちゃんとしていければなとは思っております。以上です。</p>
<p>議長（関谷委員）</p>	<p>はい、ありがとうございます。いろんな意見が出ますよね。それを基にですね、一つの制度をブラッシュアップしていくとか、どう地域への、先ほどからずっと出ていますけども地域のいろんな受ける人の医療、在宅医療・介護のやる人とかやられる人への啓発ですね、こういう仕組みがありますよ、そういうのをやっぱり知ってなければ使えませんので、その辺の地域住民への啓発も非常に重要なことかなと思います。続きまして、関委員さん、お願いいたします。</p>
<p>関委員</p>	<p>アイン薬局久喜本町店の関といいます。このコロナもあり研修会もままならない状態になってしまって、そこまでの築いた顔の見える関係づくりが、ちょっと研修会ができなかったために、他の職種の方と思いが逸れていってしまうのではないかという不安があったんですけども、今回開催となって来年度も2回予定されているということで、その不安が払拭できるかなというふうに思っております。それと資料の方で、資料の4の中にこれだけの動画コンテンツが市の方に用意されていたんだっていうのをちょっと感動してみました。ぜひちょっと見させてもらって自分も参考にさせていた</p>

	<p>だきたいなと思います。あと、次回の研修会内容、私の中でもちょっと気になっていた部分で、皆さんと話してみたいなって思っていたところでもあるので、とてもありがたく感じております。以上です。</p>
議長（関谷委員）	<p>はい、ありがとうございます。やっぱり文章であるっていうよりも顔と顔がやっぱりあると全然違うということになると思います。続きまして、次藤委員さんお願いいたします。</p>
次藤委員	<p>わしのみや訪問看護ステーションの次藤です。私は第1部の渡邊先生の講義が、その後の感染対応に自信が持てきたかなというのが感想です。訪問看護師は地域での感染者・濃厚接触者の中に、どんどん入っていかなくてはいけないという状況の中で、なかなかどう整理して安心して入れるかっていうところに戸惑いがあったんですが、あの講義を聞いてかなり整理ができて、それ以降は怖がらずにどんどん職員を出させることができたかなと思います。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい、ありがとうございました。講演会でやっぱ勇気づけられたっていう講演会だったと。続きまして、来てすぐなんですけども説明を受けてどういうふうにお考えになったか、愛上委員さんお願いいたします。</p>
愛上委員	<p>はい。やっぱり多職種が集まる機会ってそうはないので、この機会です。いろんな意見が聞けるっていうことと、今また今度やる認知症に対してもやはり訪問看護ってなると認知症の利用者様が多くって、それに対してのどういうふうな問題点が出るかっていうのもちょっと明確になるんじゃないかなと期待があります。一応この場で問題点が明確になってみんなで共有できるっていうのはすごく素晴らしい機会じゃないかなと思いました。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい、ありがとうございます。医療従事者と介護従事者の連携ってのは、これも絶対必要ですし、それがですね、ただ連携しているじゃなくてより良い連携というものをやっぱりあった方がいいわけで、その辺のことを会議です。作り上げていながら大きく広めていくこと大事だなと。続きまして、中島委員さん、よろしくお願ひいたします。</p>
中島委員	<p>はい、久喜社協居宅介護支援事業所中島と申しますよろしくお願ひいたします。まず先日の研修会についてなんですけれども、私ケアマネジャーなんです。居宅においても、関係機関皆さんが自宅に集まって話をする機会が今すごく減っております。利用者様ご家族の方も感染に不安を覚えてらっしゃる中で、なかなか医療の方、介護の方とのですね、情報交換する非常に少なくなっておりますので、今回の研修会ですごく勉強になったというふうに感じております。また次回令和5年度の研修会のテーマにつきましても、私どもの抱えている課題に対してのテーマかなと思いますので、またそこで勉強させていただきたいと思います。以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい、ありがとうございます。話し合えなければ、顔と顔の見える</p>



	<p>関係ができないので、やっぱり顔と顔が見える、お互いの目を見ながら話せるということは非常に重要かと思います。これからはそういうことを修正しながらですね、ケアマネジャーさんとしてケアプランを立てていけるように、この会を上手に仕切っていただけたらなと思います。続きまして、坂路委員さんお願いいたします。</p>
坂路委員	<p>坂路です。私ちょっと所用でこの会議に出席できなかったんですけども、資料を先ほどちょっと読ませていただいて、非常に詳しく書かれていて、これをじっくり勉強させていただいてこれからは備えたいと思います。今ちまたに言われてます、感染法上の2類から5類に移るという話がありまして、そういう対応についても、この資料を通してですね、勉強させていただきたいと思っております。以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。この作成した資料、非常にやっぱり素晴らしいものだった、僕先ほど宝って言いましたけども、本当に医療・介護の連携をやるのには宝の資料だと思います。続きまして、車塚委員さんお願いいたします。</p>
車塚委員	<p>訪問介護いきいきの車塚と申します。私もこの研修会には参加させていただいたんですが、毎回思うんですが、やっぱりちょっと時間が少なくて、関谷座長があと何分って言われるとみんなざわざわって一生懸命やって、でもその中だからこそみんなで真剣に意見が出て、まとめられた部分があるかなと思います。またコロナでは多分いろんな業種の方が大変苦労されていると思うんですが、そういう話を聞くと、自分だけじゃないんだなって皆さんどこでも大変な思いをされているなっていうことを共有できて、ちょっと前向きに気持ち向いたような気がしました。また資料の方もすごくまとめていただいて、またじっくり見たいと思いました。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい、ありがとうございます。研修会の時間短いと確かに私も思うんですけども、でもこのプロダクト、作ったものを見るとですね、非常に良いものができ上がっているんで、短時間集中でこれだけのものができるっていうのはすばらしいことだなと、実は私思っています。続きまして、加藤委員さん、お願いいたします。</p>
加藤委員	<p>ホームヘルパーステーションみつばちの加藤と申します。関谷委員長さんがおっしゃっていましたように、この資料は私自身もすごい宝物になると思います。私たち現場にいる者は日々迷うことばかりなんですね。特に具合が悪いとか体調に変化があったりとかってした時にすごく迷うことも多くて、そういう時にやっぱりどのような対応をしたらいいかっていうこと、医療的なことは私たちできませんので、そういうときにどの程度の状態であればお医者さんに連絡するとか、そういう判断はもうすごく難しいことが多々あります。ただ、今現状としまして、在宅医療を使う方が増えていまして、それがすごく私たちにとっては力になっておりますのですごくよかったなと思っています。今後もこの資料をもっと細かく読ませていただいて、参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>

議長（関谷座長）	はい、ありがとうございます。現場で直接お仕事されている人の判断というのはすごいやっぱ難しいと思います。1人でやるんじゃないくてやっぱり何人かでやったら、何か連携があったら、より良い判断できるということでこの在宅医療・介護の連携が非常に重要だというご意見だったと思います。続きまして、船橋委員さんです。
船橋委員	よろしくお願ひいたします。埼玉県幸手保健所の船橋です。同じ職場の渡邊を評価していただきありがとうございます。本人によく伝えておきます。この研修ですが、講演だけでなくグループワークをやったのがやっぱりよかったなと思いますね。こういったものをどんどん続けていただいでですね、コンセンサスが得られたことについては事業に反映させるべきかなと思います。以上です。
議長（関谷座長）	はい、ありがとうございました。いい意見にはみんなでやろうというご意見だったと思います。続きまして、山崎委員さんお願ひいたします。
山崎委員	久喜市中央地域包括支援センターの山崎です。今回研修会私初めて参加させていただいたんですけども、一部の講演の方でも新型コロナウイルスについて幸手保健所の先生からお話いただいて、非常にタイムリーな話題を振っていただいて非常に興味深く聞きました。あとグループワークの方では、これだけいろんな職種の方が、あれだけざっくばらんに会話しながらいろんな議題に話し合うっていうのがあまりこういう機会はないと思いますので、非常に良い機会に参加させていただけたと思います。ただ、今後より多くの方に、どうしても研修当日の持つ熱量っていうのがやっぱりありますので、いろんな方にもかわるがわる参加していただけるような体制がとれるといいのかなと感じております。
議長（関谷座長）	はい、どうもありがとうございます。講演会がタイムリーだったというのと、研修会でここにいる人だけじゃなくてですね、もっと広める必要があるといったご意見かと思います。続きまして、田中委員さん、お願ひいたします。
田中委員	久喜市栗橋地域包括支援センターの田中です。以前、居宅でケアマネもやったことがあるんですけど、その時にやっぱりちょっと医療の方とか、ちょっと垣根が高いとか連携がとりづらくなって思ったところも正直あったんですけど、地域包括なんでこういう機会に参加させていただいてですね、研修会、グループワークとして、何て言うんでしょうか、皆さんの立場もちょっとわかった、ちょっと感じた上で、少しそういう敬意は払いつつ、でもちょっとハードルというかですかね、ちょっと下がったかなって自分の中でも思っていて、またこういう研修の機会があればどんどん参加させていただいてですね、多職種で本当に連携することが、在宅支えていく上で本当に重要だと思っていますので、今後とも本当に参加していきたいなと思います。以上です。
議長（関谷座長）	はい、ありがとうございます。やっぱりですね、顔と顔が見えと

<p>小森谷委員</p> <p>議長（関谷座長）</p> <p>事務局：土屋課長</p>	<p>ですね、垣根がなくなっていくんですね。なので、こういう研修会に限らずですね、やっぱり顔と顔を見ながら話すっていうのは非常に重要なと思います。続きまして、小森谷委員さんお願いいたします。</p> <p>菖蒲地域包括支援センターの小森谷と申します。よろしくお願いたします。まずですね、コロナ禍ということですね、我々包括もそうなんですけども、多職種の皆様がですね本当大変ご苦労されていたっていうのを、グループワークを通して実感することができたのと、あとそれぞれ工夫を凝らしてですね、皆さん、コロナに立ち向かっていくっていう工夫を凝らしたことを聞かせていただいて、本当に勉強になったというか参考になりました。あと我々包括、相談業務がメインでですね、コロナ禍でなかなか相談も厳しいような状況もあるんですけども、多職種の皆様とですね、顔を合わせてグループワーク、お話しすることができまして、やはり顔を合わせて対応していく大切さっていうのを改めて感じたところです。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。本当にコロナ禍でこの医療・介護実践していくことの大変さをみんなで共有してきた、できたのかなと思います。皆様からご意見をいただきました。皆様ご意見ありがとうございます。いただいたご意見については事務局でまとめたいただき、次回の会議につなげていきたいと思っております。これをもちまして、議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。また皆様も貴重なご意見いただきましてありがとうございます。では、以上で令和4年度第2回久喜市在宅医療・介護連携推進会議を閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。</p>
<p>会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。（注）</p> <p>令和5年2月28日</p> <p style="text-align: center;">議事録署名人 <u>石井 成伸</u></p> <p style="text-align: center;">議事録署名人 <u>澁谷 由之</u></p>	

（注）特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。